

■活動状況

2025 年度事業報告

(2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日)

2025 年度の日本経済は、物価上昇・賃上げ・金利正常化が同時に進む転換期となりました。長年続いたデフレ的な環境から、インフレと賃金上昇を前提とした経済へ移行しつつあります。企業の設備投資が堅調でインバウンド需要が回復し半導体・AI 関連投資が拡大、円安による輸出企業の利益が改善されました。

一方、2025 年度の九州経済は「TSMC を中心とする半導体特需」と「GX（脱炭素）投資」が牽引し、北九州市では洋上風力・電炉化・物流強化による産業転換が進んだ一年でした。NPO 法人北九州テクノサポート (KTS) は、これら経済変動の影響を受けながらも地元中小企業の活性化を支援する活動を進めました。

主力の EA21 の活動は、全国的に停滞気味なところですが、新規の実施事業者が 12 件の増加に転じる成果を得ております。また、一昨年から始めた省エネ診断事業は 2 年目を迎え、受診先を拡大すべく EA21 実施企業向けのセミナー等を開催し努力しましたが実施企業は 6 社と低迷し、課題が残りました。新年度はこれらの反省を糧に引き続き実施団体として事業を進めて参ります。展示会（課題解決 EXPO）におけるビジネスマッチング事業は、前年度に比べ多少減少し、商談件数 26 件・商談額 7,246 万円の成果が得られました。インターンシップ事業は受入れ登録企業 80 社を目指しましたが、59 社の登録に留まりました。よろず相談は 5 件あり、その中でも株博有の「臭いを処理する技術」の拡販支援や「休業中のあじさいの湯の再開」に向けた活動組織の立上げへの協力等に力を入れ継続しています。

IT 活用支援グループでは、北九州市都市整備局公園管理課より依頼のあったアンケート調査の分析に IT 技術の専門家が対応し、期待に沿う成果が得られました。

KTS は、多様なキャリアを持った技術者集団であり、IT 活用支援グループが整備したオンライン会議ツール Teams と Zoomなどを駆使しながら、勉強会等で新技術習得や相互理解を深め、地域産業の振興と活力あるまちづくりへの貢献を目指し、以下の活動を展開しました。

<2025 年度の主な活動>

<関 係 先>

◆ 省エネルギー診断拡充事業	(一社)環境共創イニシアチブ (SII)
◆ 鉄道レール部品製造工程自動化 FS 事業ステップ 2	地域の中小企業
◆ 北九州地域産業人材育成事業 (地域連携型インターンシップ支援活動)	北九州地域産業人材育成フォーラム (公財) 北九州活性化協議会
◆ 北九州市風力発電人材育成連絡会業務の支援	(公財) 北九州活性化協議会
◆ 公園愛護会アンケート分析調査業務支援	北九州市都市整備局公園管理課
◆ 課題解決 EXPO2025 ビジネスマッチング事業	(公財) 北九州観光コンベンション協会
◆ 北九州商工会議所アドバイザー活動の推進	北九州商工会議所
◆ 製品開発・業務改善指導など	地域の中小企業
◆ エコアクション 21 認証・登録事業の推進	(一財) 持続性推進機構 EA21 中央事務局
◆ 広報誌（夏号／冬号）の発行	国、県、市、経営支援機関、賛助会員、協賛会員
◆ よろず相談 5 件	地域の中小企業